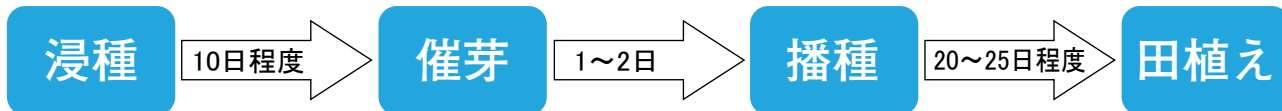


# さあ！ 春の準備を始めよう！！

## 育苗作業の注意点を確認しましょう！（催芽まで）

作業開始日は田植日から逆算して始めましょう。



### ！ 育苗作業のポイント

- ① 浸種温度は10～15℃で10日程度、積算温度100℃をめやす！  
※特に浸種1日目は10℃以上の水温確保、水は1～2日でこまめに更新。
- ② 種子消毒は、温湯＋生物農薬（タフブロック）の体系防除を実施！  
※どちらか一方では効果が不安定になります。
- ③ 催芽時の温度は30℃で1～2日がめやす！  
※発芽温度30℃を超えると病害の危険。  
※発芽状態は鳩胸程度とし、発芽率80%以上を確認。

鳩胸



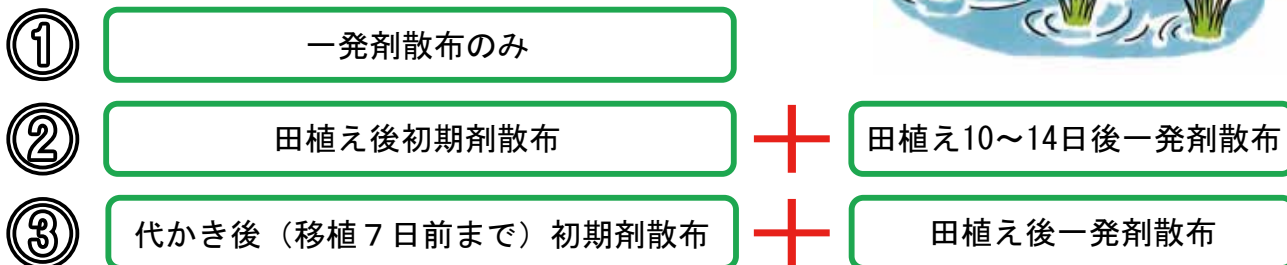
伸ばしすぎ



## 除草剤散布から始めるカメ虫防除！

水田内雑草がカメ虫を水田によびこんだという情報もありますので、ヒエ、ホタルイの除草を徹底しましょう。

### ！ 散布のポイント



- ① 雑草の少ないほ場では、一発剤を田植え後早めに散布（田植え同時を推奨）しましょう。
- ② 雑草の多いほ場では、田植え同時初期剤散布と一発剤の体系防除を検討しましょう。
- ③ 代かきから田植えまで期間が空く場合には、代かき後の初期剤散布も検討しましょう。

## 稲作メールで配信される消雪予想を確認しましょう！

【登録専用アドレス】 イナサク  
inasaku@ja-kitauonuma.com

登録用QRコード

